

スパーサーテープで 国内外トップシェア



スパーサーテープ



衛生検査器材



実験用シャーレ



株式会社アテクト

自社商品として取り組みたい

半導体資材と衛生検査器材の大きく二つの事業分野を展開しているアテクト。半導体資材事業では包装・保護資材のスパーサーテープの製造で、国内外のトップシェアを獲得している。スパーサーテープは液晶・プラズマテレビのモニターに付けられるドライバLSIをはじめとしたフィルム基板の製造・搬送過程で使われるもの。漏電コーティングしたプラスチックフィルムにスリットとエンボス加工を施し、漏電抵抗でドライバLSIに電気が流れないといった優れた機能を有する。製造現場にはクリーンルームを導入、ミクロン単位の微細な異物の混入、付着も防止する等、万全の体制を整えている。

小高得央社長が就任した平成元年当時、同社はエンブラ樹脂やプラスチックフィルム製のスピーカー振動板等を作る、技術が売りものの会社だった。しかしいくら高い技術力を誇っても需要は安定せず、下請けという業態では長く仕事を続けられないのではという危機感が、小高社長にはあった。

同年、スパーサーテープの製造という新事業に踏み出すにあたって小高社長は顧客に提案した。「金型は当社で作ります。その代わりにその金型を使って他社にも製品を売らせてください」。金型に経費がかからないため顧客は喜んで了承し、液晶マーケットの順調な伸びに比例して業績を伸ばしていった。

「トランジスタが『産業の米』ならば、液晶は『産業の紙』。価格は下がるだろうが、今後さらに普及していくのは間違いないと考え、リスクを背負う代わりに安定した商売にしていこうと思いました」。急激な伸びに生産が追い付かない時期もあったが、金型も成形機も自社で作っていたため莫大な設備投資は必要なく、下請けからの脱却も果たした。

使い捨てる医療器具に着想

電気関連事業が順調に伸びる一方で、小高社長はさらなる分野の開拓を模索していた。着想したのが使い捨てる医療器具。「実験用のシャーレはないのか？」と医師に聞かれたことがきっかけとなり、臨床検査会社という販路も教わって、平成6年からシャーレ製造を開始することに。やがて食品会社にも販路を広げる等順調に受注を伸ばし、平成8年にはシャーレ部門を分社化した。

金型設計からの一貫生産に加え、シャーレと寒天培地のキット販売から試薬剤、大腸菌・大腸菌群の検出用機器まで、衛生検査器材をトータルに販売展開。そのうえ直販システムとデリバリーの早さを売りとし、

午前中に注文を受ければ午後には発送した。顧客は9500社を数え、以後も毎年1000社近くの新規契約を増やし、業績を伸ばしている。「ものづくりの会社で良いものを作るのは当たり前です。それをいかにお客様の元に届けるかという仕組みづくりまでしなければ、商売は成立しません」と小高社長。「今がよくても永遠に、ということはない。常に問題意識を持って新しい挑戦をし、次の柱を作っていくことが生きる道なのです」。現状に満足せず、さらなる可能性を追求する。

株式会社アテクト

Company Profile

住所 / 〒578-0912
大阪府東大阪市角田2-1-36
創業 / 昭和34年10月
設立 / 昭和44年4月
資本金 / 7億2,964万5,000円
従業員 / 72名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-967-7000
FAX / 072-967-7001

ISO 9001
ISO 14001



<http://www.atect.co.jp/>



小高得央さん
代表取締役社長
CEO

主な事業内容

ディスプレイ検査器具等
の衛生管理用品、
電子部品向け
保護資材スパー
サーテープの製
造・販売等